

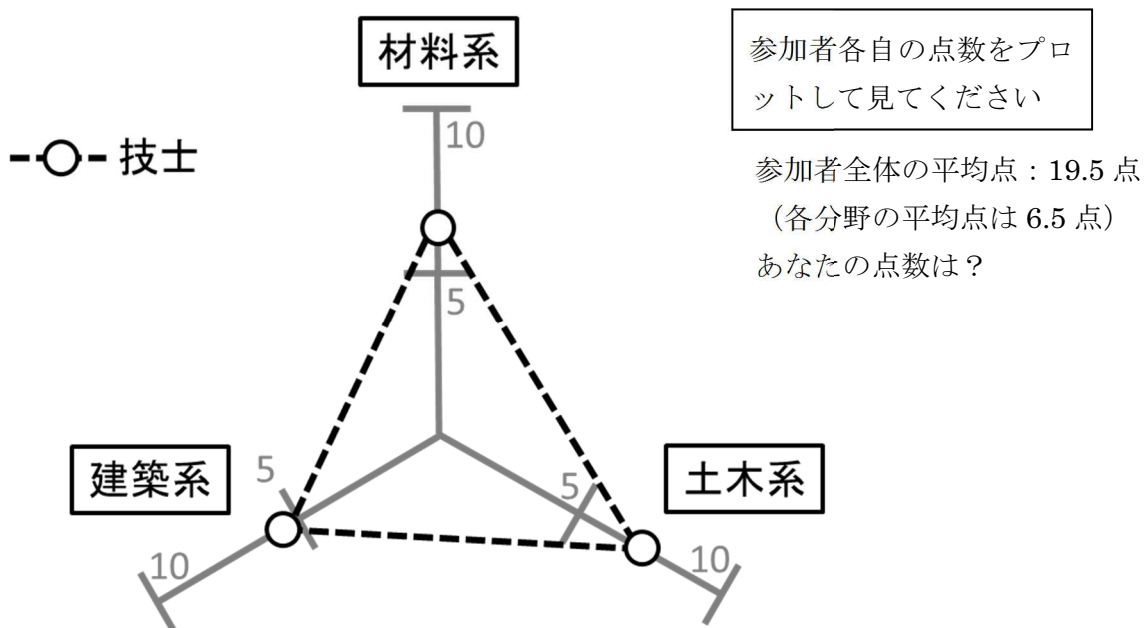
2016 年度コンクリート技士・主任技士研修 専門知識自己診断テストの結果について

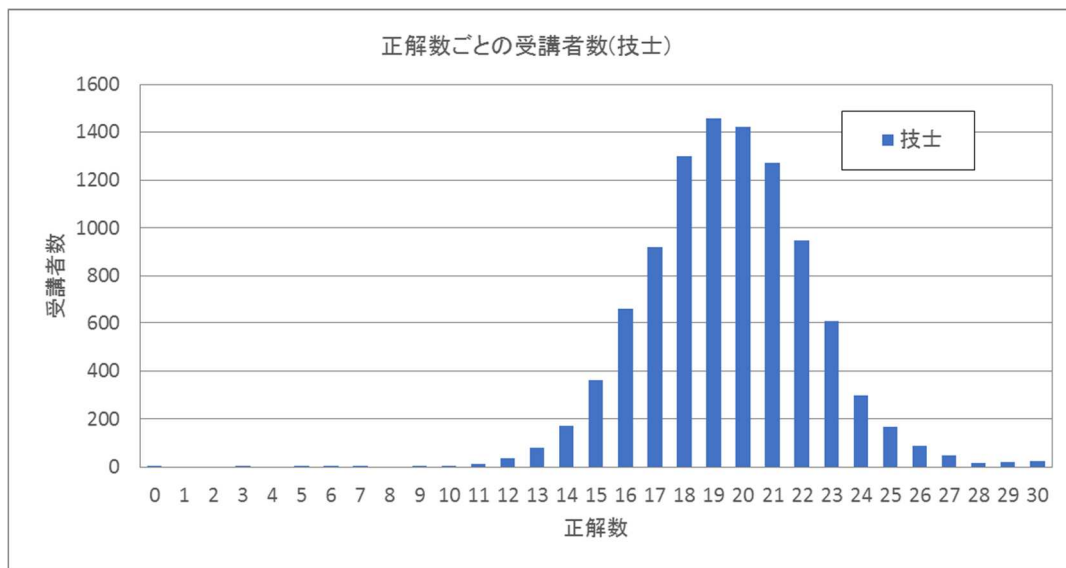
2016 年度のコンクリート技士・主任技士研修では、受講者全員に、「専門知識自己診断テスト」に挑戦して頂きました。

本テストは、名称からも推察できるように、コンクリートに関する各自の専門知識レベルが現在どの程度にあるのか(技士・主任技士資格取得当時のレベルを維持しているか、あるいは向上しているか、逆に低下しているか)を把握して頂くことを目的としています。その背景には、コンクリート分野への社会からの信頼がコンクリート技士・主任技士の日ごろの業務に依存していることがあります。試験の結果については、レベルの差を考慮して、コンクリート技士と主任技士を分けて分析することになりました。

(1)コンクリート技士

受講者全体(9930 名)での平均点は 19.5 点(30 点満点)、標準偏差は 2.85 でした。また、出題された問題群を、(1)材料系(研修時のテスト問題 1~10)、(2)建築系(テスト問題 11~20)、(3)土木系(テスト問題 21~30)の 3 分野に分類すると、各分野の平均点(10 点満点)は、それぞれ 6.6 点、5.5 点、7.3 点 でした。職種により得手不得手はあると考えられますが、研修に参加された方々には、各分野の得点(正解数)を下のチャートにプロットし、ご自身の現在のレベルを把握して頂き、更なる知識の習得を目指すための参考にして頂ければ幸いです。

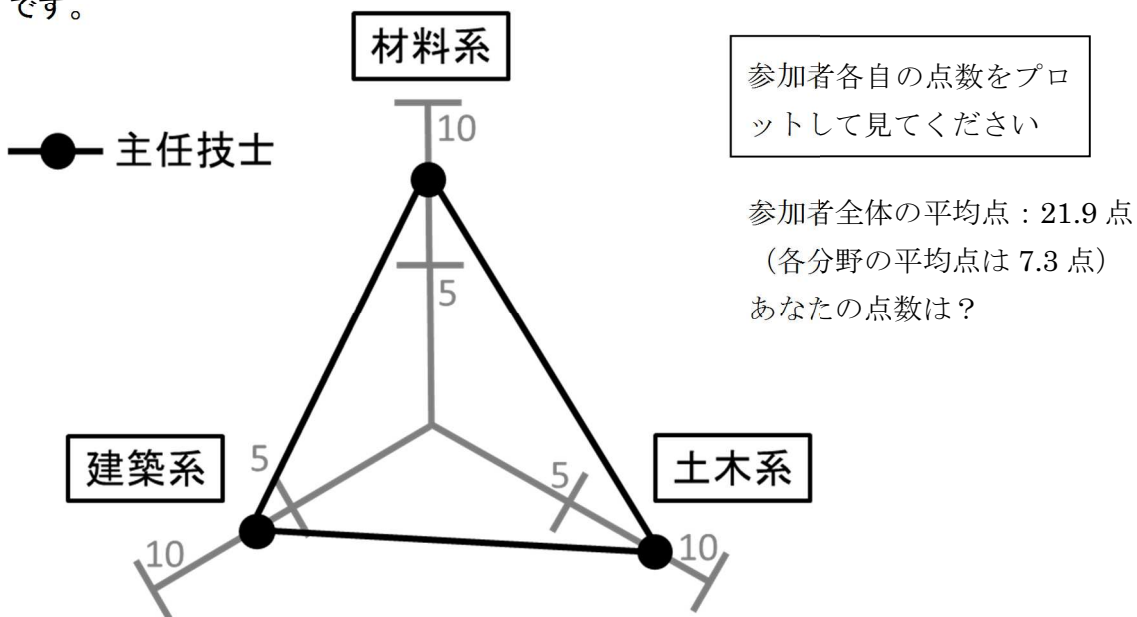


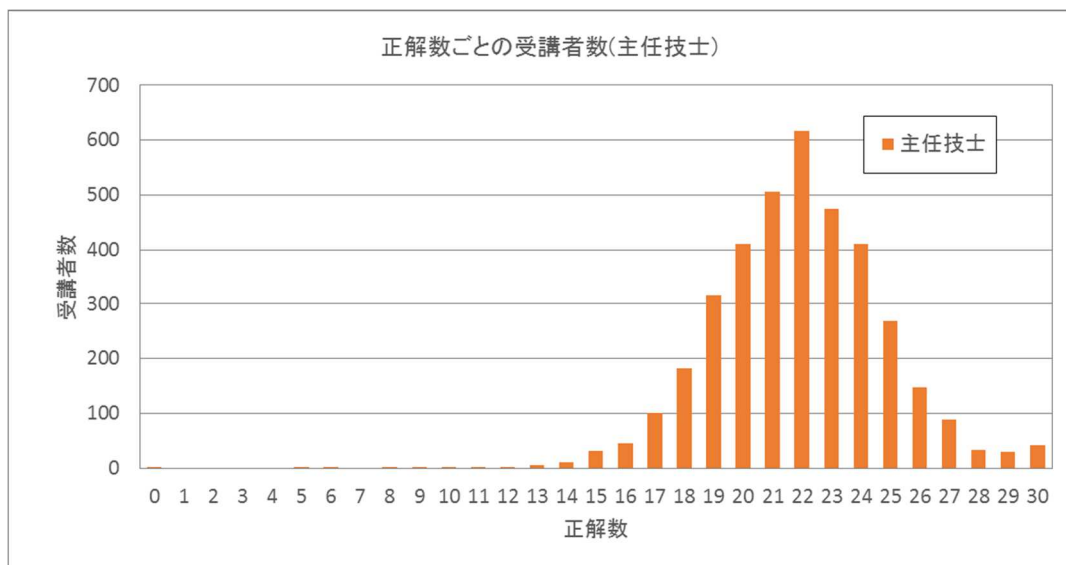


2016 年度 正解数ごとの受講者数(コンクリート技士)

(2)コンクリート主任技士

受講者全体(3741名)での平均点は 21.9 点(30 点満点)、標準偏差は 2.90 で、コンクリート技士よりも平均点は 2.4 点上回りました。また、出題された問題群を、(1)材料系(研修時のテスト問題 1~10)、(2)建築系(テスト問題 11~20)、(3)土木系(テスト問題 21~30)の 3 分野に分類すると、各分野の平均点(10 点満点)は、それぞれ 7.5 点、6.3 点、8.0 点 でした。職種により得手不得手はあると考えられますが、研修に参加された方々には、各分野の得点(正解数)を下のチャートにプロットし、ご自身の現在のレベルを 把握して頂き、更なる知識の習得を目指すための参考にして頂ければ幸いです。





2016 年度 正解数ごとの受講者数(コンクリート主任技士)

年度別の正解数の平均一覧

| 年度 | 問題種類 | 出題数 | 対象 | 正解数の平均 (得点率) | 標準偏差 | 正解数の平均 | | |
|------|------|-----|----|-----------------|------|--------|-----------|----------|
| | | | | | | 材料・物性 | 配合・製造・耐久性 | 施工・構造・製品 |
| 2010 | 4 | 45 | 技士 | 30 (67%) | 4.0 | 10.5 | 9.7 | 10.0 |
| 2011 | 1 | | | 31 (69%) | 4.1 | 10.7 | 10.0 | 10.0 |
| 2012 | 1 | | | 27 (60%) | 3.9 | 8.3 | 10.1 | 8.7 |
| 2013 | 1 | | | 27 (60%) | 4.0 | 9.8 | 8.9 | 8.9 |
| | | | | | | 材料系 | 建築系 | 土木系 |
| 2014 | 1 | 30 | 技士 | 18.5 (62%) | 3.0 | 6.6 | 6.4 | 5.5 |
| 2015 | 1 | | | 18.9 (63%) | 2.9 | 6.2 | 6.5 | 6.1 |
| 2016 | 1 | | 技士 | 19.5 (65%) | 2.9 | 6.6 | 5.5 | 7.3 |
| | | | 主任 | 21.9 (73%) | 2.9 | 7.5 | 6.3 | 8.0 |

【参考】

